戦争体験を語る宮本喜美子さん雹

和な生活、戦況悪化で帰国

する際の父や兄との別れの

は、移住したパラオでの平

昨年に続いて開いたもの。 びました。同校教員有志が 文化祭で開催され反響を呼

体験談の中で宮本さん

地獄の光景など語る

米潜水艦の魚雷攻撃を受け 辛さ、乗り込んだ輸送船が

市街、地獄のような収容テ

死体が累々と横たわる長崎 上する広島市街、黒焦げの

かび上がり、

ント内、背中一面が焼け爛

い」と話していました。

働いています。 例えばエコ

た時の地獄のような光景、

報告のあと、八幡屋在住の

雷攻撃を奇跡的に生き延

被爆の実相に衝撃

港高校文化祭で「原爆展」

南方海上で米軍の二度の魚 で戦死、自らも帰国途中の

員 (婦人部長) として戦争

活動を続けています。 のない平和な社会のために

爆展」が九月五日、港高校

び、現在は港区遺族会の役

研修に参加した青年からの 原水爆禁止世界大会や平和

私は八十三歳で、八幡屋

岡・弁天など他の地域も似

が走っている池島・市

ています。 この辺りは地下 四丁目の市営住宅に居住し

鉄朝潮橋駅まで約一・四小

い゛足〟になっています。 にとって赤バスは欠かせな たような条件であり、区民

なのにアクションプラン

あり、健康な人が歩いて

石井ひさ子さん(帰)

ョンプラン」(案)で廃止 の対象となっている赤バス ス事業改革プラン「アクシ この文章は、大阪市営バ 留所まででも一、近く離れ 幹線バスの八幡屋や港晴停 も十五分以上かかります。

という評価がされていま しているのです。

地域への思いを自由に述 べて頂けるよう読者の皆 さんに開放しています。 性も公共性も著しく低い では、赤バスについて「経済

このスペースは、社会や

者・幼児連れの親の命綱で 見「赤バスは高齢者・障害 す」を本紙で要約したもの さ子さんが市に提出した意 について、利用者の石井ひ

・平和運動

ています。赤バス「港ルー す。が、経済性はともかく、

赤バスは弱者の命綱 市は実態つかみ利用増図れ

テッキを必要とする歩行不 いては納得できません。 公共性が低いという点につ - トを確かめる視覚障害 線バスや地下鉄などへの乗 高齢者でも移動手段にやむ は高齢者で、半数以上がス り降りする人、手探りでシ 自由者です。這うように乗る部分がある程度なければ まず、赤バス乗客の多く みな頼りにしている プの場合、並行部分はごく げられていますが、港ルー 理由の一つに「一般バス路 乗り継ぎが出来ません。幹 僅かです。それに、並行す 線と並行している」点があ また公共性が低いとする 前から、大通りから奥に入 にある、ということです。 利用者を増やす努力をすべ きだし、増える条件は充分 と言うだけでなく、むしろ は、市は「利用者が少ない」 った地域の交通が不便で、 というのは、港区では以

ーカーに乗せたお母さん― プの場合、時には満席で、 等々。みな赤バスを頼りに ままの人、老夫の車イスを 者、膝を曲げられず立った 必死で押さえる老妻(お二 幼児を抱き赤ちゃんをベビ という評価ですが、港ルー 人とも聴覚障害者です)、 乗り継ぎできる利点も 乗客は少しずつ増えている り継ぎができることが赤バ のが実際です。 スの利点の一つなのです。 さらに「利用者が少ない」 同時に私が訴えたいの 自転車より赤バスを 利用を勧めていますが、

す。これはまた、不法駐輪 も貢献するはずです。 や放置自転車問題の解決に 最後に財政問題ですが、 市政全体の中で解決を

政全体の中で、その一環と 福祉や交通安全を含めた市 る問題は、独立採算でなく、 うような市民生活に直結す くのが本当だと考えます。 スは弱者の命綱です。絶対 して解決方向を見つけてい 市営バスをどうするかとい 繰り返し訴えます。赤バ

その上で最近始めたのが

原爆写真を観て回る若者

三分の一くらいでしょう。 私は会社員でしたが、

港

平和の力を地域に」と

宮本喜美子さん(ゼ人) (平成

父と兄の戦死の知らせを受 きてこられたんですね 「極

と生協診療所で「平和のつ 九月二十六日、磯路のみな

どい」が催されました。

験を語りました。

宮本さんは父と兄が南方

でしたが、平和のために少 れました。

欄に登場)が自らの戦争体 十五年に本紙「戦争体験」

—などを語り、「拙い体験談く尾を引いた家族の苦しみ

ました」などの感想が出さ という意志の強さに感動 限状況の中でも生き抜こう

けた時の悲しみ、戦後も長

約二十人が参加。今夏の

新

戦争体験から学ぶ

バル術を実行して生き延び

父から教わった海上サバイ

しでもお役に立てれば嬉し

く思います」と結びました。

参加者からは「戦中も戦

たこと、帰国後に遭遇した

米軍機の機銃掃射の恐怖、

後も大変な苦労をされて生

生協診療所「平和のつどい」

示内容が印象的でした。

度とこんな日があってはな 恐ろしさにすごく心が痛み ました」(十代女子)「二 展示を企画した川島昌之 アンケートには「原爆の

のことなら… 1人で悩ます

被爆の実相を伝える「原 れ「殺してくれ」と叫ぶ少 数十枚のパネルには、炎軍の計画性、非人間性が浮 真に、峠三吉の詩や被爆市症に苦しむ市民―などの写 伝の嘘を暴く、迫力ある展った」というアメリカの宣 終結のためにやむを得なか 民の体験記などを添付。米 年、脱毛や斑点などの原爆 一投下は戦争 らない」 (女子学生)など 間性、戦争の愚かさ、平和 事実を通じて核兵器の非人 教諭(エュi)) は 「若い世代は の感想がありました。 たようです。来年も続けた の大切さを感じ取ってくれ

【1面のつづき】 なくさないで下さい

込んできました。 万博の頃 閉じる方向で進んでいまし 年前に辞めて店の仕事に就 から比べると、今の売上は たが、次の仕事が見つから きました。それまでに店は 提供する一その分値段は少 当店できちんと組み立てて らと考えています。

問題となっているのは? てみよう」と思ったのです。 なかったこともあって、「そ れなら自分で店を立て直し 今、商売を続ける上で

サービスも地域店ならでは

しアップしますが―こんな

だけ適

住民.

ムセンターが家具を置いて くなったことです。これに いることも響いています。 進出してきたことや、ホー 最近、ニトリなど大型店が ゆる収納型の住宅が多くな り、家具を揃える必要がな 政治の動きもマイナスに 一番大きな問題は、いわ

私は周りの高齢者に赤バス から赤バスに替えよう」と を持ってほしいと思いま アピールするくらいの姿勢 も高齢者に対して「自転車 はとても危険だからです。 すが、高齢者の自転車走行 なく自転車を利用していま ップです。以前は問屋が年 り、これもマイナスです。 具の廃棄を伴う新しい家具 なっています。また大型ゴ どの消費は促進されていま ミ回収の有料化で、古い家 すが、家具などは二の次に ポイント制度で電化製品な 中止になりました。それで れましたが、今は不景気で の購入には誰もが慎重にな 一回、チラシで宣伝してく まずは地域での認知度ア その中での対応策は?

2ギガマイクロSD

メモリーカード

・ドアップ、新規購入された万

ティングしています。 手描きのチラシを自力で作 時間を見つけてはポス も〝人間性〟で勝負してき た、つ だと思 親父 今 後の展望を は ″駆け引き″ を

ちょっとした修理とか、高 物がどんどん売れる時代は 具の移動とか、本当に喜ば 齢者世帯では難しい大型家 期待できそうにないので、 店の存在をアピールできた れるサービスをしながら、 家具の何でも相談 |です。 神を失うことなく続けていらも親父のそんな創業の精いかけて下さいます。 これか <u> <</u> 昔のお た。 そ ような してき その 対応策も講じ、また 上で、さっき言った たところがありまし いうのが基本です。 客さんが未だに声を のお陰でしょうか、

完成しないのです。それを が素人ではなかなかうまく 家具があるのですが、これ 組み立てる分、値段も安い "箱売り" といって自分で また大型店の製品には りも生 いきた る民主 生かし、更には所属してい会社員時代の接客の経験も 商工会の横のつなが いと考えています。 かしながら頑張って

かる規制緩和や価格破壊の時。 店。そこへ容赦なく襲いかい地域生活を支えてきた小売 風潮の 思いが 問われ 私たち に返り 実な商 新しさ 主の姿勢には、頭の下がる いの原点を守り続ける各店 に喜ば 波。 そ しました。 中 ばかりを追い求める 咲けるのかどうか 法が地域商圏の王座 れてこそ」という商 の逆境下でも「地域 消費者の側の姿勢も 果たしてその誠 ます。 安さや目

その他の相談もお

でもらうことを第一に商売た、つまり儲けよりも喜ん 新製品発売中! タジスプレゼントセール) 無料体験歓迎!3回ま





